

農林水産研究開発における産学官連携の推進等システム改革の検討 について(案)

平成14年3月19日
農林水産技術会議事務局

1 趣旨

平成13年3月に、21世紀に向けた新たな科学技術基本計画が策定されるとともに、同年4月から、国の試験研究機関が独立行政法人への移行が行われたところである。また、平成13年12月には、研究開発型特殊法人等の整理合理化計画が示されたところである。

こうした科学技術政策の流れを踏まえ、農林水産研究開発の的確な推進を図るためには、平成13年4月に策定した「農林水産研究・技術開発戦略」の着実な実施等を通じた研究開発の重点化を進めるとともに、農林水産分野の特性に配慮しつつ、産学官連携の推進等研究開発システムの改革を積極的に進めていくことが不可欠である。

このため、農林水産技術会議に、有識者からなる「研究開発システム検討専門委員会(仮称)」を新たに設置し、農林水産研究分野における産学官連携等研究開発システムに係る具体的な改革の方向性をとりまとめることとする。

2 当面の検討課題及び検討スケジュール案

産学官連携の推進(地域科学技術振興の視点も含む。)

| | | |
|----|-------|----------------|
| 4月 | (第1回) | 産学官連携の推進の現状と課題 |
| 5月 | (第2回) | 有識者ヒアリング |
| | (第3回) | 有識者ヒアリング |
| 6月 | (第4回) | 論点整理 |
| | (第5回) | 中間まとめ |